

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公表番号】特表 2005-521760 (P2005-521760A)

【公表日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-028

【出願番号】特願 2003-574732 (P2003-574732)

【国際特許分類】

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

A 6 1 K 8/18 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 C 3/06

A 6 1 K 7/02 P

A 6 1 K 7/027

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 27 日 (2006.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒子が、長さ $2\ \mu\text{m} \sim 5\ \text{mm}$ 、幅 $2\ \mu\text{m} \sim 2\ \text{mm}$ 、厚さ $50\ \text{nm} \sim 1.5\ \mu\text{m}$ を有し、長さ対厚さの比が少なくとも $2 : 1$ であり、粒子が、二つの実質的に平行な面を有するコア S^D を有し、それらの面の間の距離が前記コアの最短軸であり、場合によっては、これら平行な面又は全表面に適用された層 Q^Z 及び / 又は D^M を有する顔料であって、

・前記コア S^D が、 $20 \sim 350\ \text{nm}$ の厚さを有し、ケイ素を $50 \sim 97$ 原子% 含み、このケイ素が、ケイ素 100 原子% あたり $3 \sim 95$ 原子% の酸素に結合しており、

・場合によっては、厚さ $0 \sim 500\ \text{nm}$ の層 Q^Z が存在し、この層がコア S^D に適用され、ケイ素を $17 \sim 51$ 原子% 含み、このケイ素が、ケイ素 100 原子% あたり 95 原子% を超える酸素に結合しており、

・場合によっては、厚さ $0 \sim 300\ \text{nm}$ の層 D^M が存在し、この層が、粒子の最大可視反射の波長で $50 \sim 100\ %$ の透明度及び複素屈折率：

【数 1】

$$\tilde{N} = n + ik$$

(ただし、条件：

【数 2】

$$\sqrt{n^2 + k^2} \geq 1.5$$

による)を有し、実質的に炭素、有機化合物、金属、誘電体又はそれらの混合物からなり、前記コア S^D 上にあるか、又は層 Q^Z が存在するならば、その層 Q^Z によって前記コア S^D から隔てられている顔料。

【請求項2】

厚さ2～250nm、好ましくは10～100nmの、 n_D 1.6の無機誘電体のさらなる層によってさらに包囲されている、請求項1記載の顔料。

【請求項3】

前記さらなる層の誘電体が、場合によっては部分的又は完全に加水分解されていてよい酸化ケイ素である、請求項2記載の顔料。

【請求項4】

高分子量有機材料と、前記高分子量有機材料に基づいて0.01～80重量%、好ましくは0.1～30重量%の請求項1、2又は3記載の顔料とを含む組成物。

【請求項5】

化粧品調製物又は配合物の全重量に基づいて0.0001～90重量%の請求項1、2又は3記載の顔料と、10～99.9999重量%の化粧品に適したキャリア材料とを含む化粧品調製物又は配合物。